



号外福島2区版

10年1月号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話03-3595-9988(代表)

press@dpj.or.jp

http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

新年明けまして おめでとうございます。

昨年は皆様の力強いご支援を賜って政権交代を成し遂げることができました。「国民生活が第一」の政治への転換を選択していただいた皆様のご判断に深く敬意を表するとともに、改めて感謝を申し上げる次第です。

さて、昨年が変化・転換の年だったとすれば、今年の実現・実行の年にしなければ、皆様のご期待に応えることになりません。私どもには、夢を形にする責任があります。

民主党がこれまでお約束してきた政策の大きな柱。第一に子ども手当の創設。そして農家への戸別所得補償制度の導入。子ども手当は半額規模から、また戸別所得補償はコメに限ってのモデル事業としてスタートさせる予算案を策定しました。

高校の実質無償化や高速無料化に向けた社会実験も盛り込むことができました。

ただ、来年度にカソリン税の暫定税率を廃止することができませんでした。不況の影響で税収が予想以上に落ち込んでいること、世論の支持が分かれていること等の言い訳もできないわけではありませんが、お約束していたことができなかったこと、この一点において率直にお詫びを申し上げたいと思います。そして、将来行われるであろう総選挙の際に、「コンクリートから人へ」予算の流れを変えること、官僚主導の予算編成を国民主導に切り替え、事業仕分けなどを通じてムダづかいをなくすこと、景気対策や雇用対策、年金記録問題や医療の立て直しなど、私どもがお約束した様ざまな政策について、4年間の中で何がどこまで実現できたのか、あるいはできなかったのか、あくまでそのトータルな視点からご判断いただくと幸いです。

今年度は、年度途中で政権交代が実現したこともあり、一般会計、特別会計あわせて200兆円の中からムダをカットしていく大胆な作業が中途半端に終わったのは事実です。政治主導の象徴であるはずの国家戦略局も必ずしも十分機能しているといえません。昨年の政権運営の中で出てきた反省点を謙虚に踏まえながら、今年はいかにそれらに全力で取り組んで、「生活が第一」をさらに実感していただける政治をつくってまいります。そして、地元福島県の発展・活性化につながる活動を展開していく決意ですので、皆様方には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ、年頭に当たっての国政報告とさせていただきます。

「国民生活が第二」の政治へ。



衆議院議員

太田かずみ



政権交代を
目指し
戦った選挙戦



●郡山駅前アーケードで「政権交代 太田かずみ」をコール



国会
活動

●2009.12.16
鳩山首相・小沢幹事長と
陳情要請に関する意見交換



みなさん
のご声援
ありがとうございます。



後援会
活動



●各地で後援会を立ち上げていただいています。
●国会見学(スツアー)を行いました
小沢幹事長と記念写真

地元の声を国会に届けています!



ふるさと
福島での
地域活動



●政権交代を強く訴えての第一声!!



●鳩山代表、増子輝彦参議院議員と。



●8.26 民主党岡田幹事長来る



●自転車キャラバン



●佐藤嘉重本宮市長



●安積疏水・熱海頭首工視察



●二本松菊人形祭り開場式にて



●浅和定次大玉村長



●深沢町会創立50周年
記念式典にて



テクノメタル労組 第38回定期大会

